

施策番号	6
------	---

## 施策評価シート（評価対象年度：令和元年度）

基本政策	1	子育て・教育・学び
施策名	6	生涯スポーツ
10年後のまちの姿	〇年齢や性別、障がいの有無等にかかわらず多くの市民が生活の中でスポーツに親しみ、心身ともに健康的な生活を送っています。	
施策展開の基本的な考え方	行政は、身近な活動場所となる体育施設等の適切な管理、活動団体に対する支援、スポーツを見て楽しむ機会の創出等によって、市民が生涯スポーツ活動に取り組みやすい環境づくりと交流の促進を進めます。 市民等は、体育施設等の利用・観戦マナーを守りながら、自身の健康・体力の状態に見合った運動・観覧・ボランティア等を通じて多様なスポーツ活動を定期的・持続的に実施するとともに、活動の輪を広げるよう努めます。	
実現に向けた取組	①習慣的な運動につながる多様なプログラムの提供 ②施設の適切な維持管理と利用促進 ③スポーツを通じた交流の促進と地域の活性化	
施策担当課・係	生涯学習課 スポーツ振興係	
施策関係課・係	健康づくり課 元気応援係	

### I 施策の実施状況

#### 1 施策全体の事業費

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業費（千円）	356,835	154,924	211,980		
事務事業数	16	16	16		
うち、事務事業評価対象	15	16	16		

#### 2 成果指標の達成状況

指標	単位	基準値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和3年度 中間目標	令和8年度 最終目標
1回30分以上の運動を週2回以上実施し、1年以上継続している市民（男）の割合（アンケート調査）	%	13.7	未把握	未把握	未把握			20.0	26.9
1回30分以上の運動を週2回以上実施し、1年以上継続している市民（女）の割合（アンケート調査）	%	12.4	未把握	未把握	未把握			15.0	19.2
ふれずぼ胎内（トレーニングルーム）の延べ利用者数〔年間〕	人	11,250	19,479	22,980	22,288			15,000	18,000
スポーツ・ツーリズムイベント参加者数〔年間〕	人	456	563	803	733			750	1,000

#### 3 施策の進捗状況

達成度	○ 概ね順調
達成度の判断根拠	ふれずぼ胎内利用者数は増加傾向にあり、トレーニングルーム利用者数においては、新型コロナウイルスの影響により、昨年度の利用者数を上回ることはできなかったが、健康志向の高まりにより利用者増につながっている。
成果指標による現状分析	スポーツ・ツーリズムイベントでは、参加者数においては昨年とほぼ横ばいであるが、中間目標をすでに達成している状況であり、ニーズを見極めながら最終目標に近づくよう事業に取り組んでいく。 トレーニングルーム利用者数においては、ふれずぼ胎内の施設が広く市民に周知されてきており、健康の維持・向上への高まりから今後も増加することが予想される。

#### 4 取組の状況と今後の方向性

##### ① 習慣的な運動につながる多様なプログラムの提供

施策の内容
<ul style="list-style-type: none"><li>・総合型地域スポーツクラブやその他の活動団体と連携し、医療・福祉分野の取組を巻き込んで、年齢や性別、障がいの有無等にかかわらず参加したくなるようなプログラムの提供に取り組みます。</li><li>・子どもがスポーツに触れるきっかけや体力向上、社会性を培う貴重な場となっているスポーツ少年団・スポーツ教室の活性化に向けて、指導者の育成や負担軽減、親子で参加できるプログラムの提供等に取り組みます。</li><li>・砂浜、登山道、河川堤防等の場所において、自然に親しみながら健康・体力づくりにもつながる運動ができるような環境整備を検討します。</li></ul>
これまでの主な取組と実績
<ul style="list-style-type: none"><li>・令和元年度より、ふれすぽ胎内を始めとした社会体育施設をNPO法人スポーツクラブたいないが指定管理者なり、市民と身近な存在として管理業務を実施しており好評をえている。</li><li>・スポーツを身近に感じることができるイベントとして、毎年開催してきたたいないスポーツフェスティバルを変更し、年齢や性別等にかかわらず参加できるイベントを開催した。（令和元年10月 参加者944人）</li><li>・楡形ウインドトレイル（H28～）、たいない高原マラソン（H29～）、ツールド胎内【サイクルイベント】（R1～）など、自然に親しみながら健康・体力づくりにもつながるイベントを開催した。</li></ul>
主な課題と今後の対応
<ul style="list-style-type: none"><li>・スポーツを手段とした医療費抑制への期待感が増しているが、特にスポーツ実施率が低いビジネスパーソンや子育て世代がスポーツに触れる機会の提供は、今後より力を入れて取り組むべきことであり、NPO法人スポーツクラブたいないと連携等を図り取り組みたい。</li><li>・平成30年3月に新たに「胎内市スポーツ推進計画」が策定された。市民のスポーツ実施率が平成29年度調査で35%であり、国の51.5%と比較して低いことから、特に無関心層や女性及びビジネスパーソンへの具体的な諸施策により改善に努めたい。</li><li>・パラスポーツが、障がい者と健常者とが一緒にできる取組となり、より身近なものとなるよう市民向けの体験会を実施していきたい。</li><li>・親子で参加できる取組や休日でも参加しやすいスポーツの普及により、子どもがスポーツに触れるきっかけの提供を進めたい。</li><li>・楡形ウインドトレイルやたいない高原マラソン、ツールド胎内を広く啓発し、スポーツ・ツーリズムの拡大によりスポーツと観光、経済への波及につなげる。</li><li>・市民が日常においても個人で気軽に取り組むことができる通勤時のウォーキングや自重で行う筋肉トレーニングを推奨することで、裾野の拡大を図る。</li></ul>

##### ② 施設の適切な維持管理と利用促進

施策の内容
<ul style="list-style-type: none"><li>・各施設については、体育施設としての利用状況や市民の利便性に加えて防災機能等を総合的に評価し、廃止を含めて今後の利用計画を検討します。</li><li>・管理運営や利用促進に民間のノウハウや資金、人材を積極的に活用して、施設の有効活用を図ります。</li><li>・ふれすぽ胎内、総合グラウンド、リバーサイドパーク等の拠点施設が集積するエリアを健康・体力づくりの拠点と位置付け、障がい者を含めた多様な市民が利用しやすい環境づくりをソフト、ハードの両面から検討します。</li></ul>
これまでの主な取組と実績
<ul style="list-style-type: none"><li>・中条体育館・武道館等の解体撤去（H29）、旧村松浜小学校体育館の解体（H30設計委託、R1工事）を実施。</li><li>・効率的かつ効果的な管理運営、利用者の利便性向上を図るため、ふれすぽ胎内・総合グラウンド陸上競技場など社会体育施設15施設に平成28年度から指定管理者制度を導入し、民間企業による管理を実施した。</li><li>・第2期指定管理期間となる平成31年4月から指定管理施設を14施設とし、NPO法人スポーツクラブたいないを指定管理者に決定した。（指定期間 令和6年3月まで）</li><li>・ふれすぽ胎内のトレーニングルームやランニングレーンの利用人数が増加しており、個人が気軽にスポーツ・運動に取り組もうとする機運の醸成に繋がっている。</li></ul>
主な課題と今後の対応
<ul style="list-style-type: none"><li>・老朽化している旧小学校体育館や黒川体育館について、廃止時期を胎内市公共施設等総合管理計画や利用状況を勘案し定めていくとともに、今後管理すべき施設やその数を明確にしていく必要がある。</li><li>・指定管理者による管理状況を把握・検証し、指定管理料の適正化など適宜見直していく。</li><li>・ふれすぽ胎内とリバーサイドパーク等の公園施設を結ぶ歩道を利用し、ウォーキングする市民を見かけるが、市民がウォーキングコースとして親しめる環境となり得るのか、ハード面を検証したい。</li></ul>

③ スポーツを通じた交流の促進と地域の活性化

施策の内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内外のスポーツ団体、選手等との交流を通じて、競技者だけでなく一般市民も観戦・応援やボランティア等でスポーツの魅力に触れる機会を創出します。</li> <li>・レベルの高い競技を見る、専門家から指導を受ける等により、トップアスリートを目指すきっかけづくりや市民のスポーツ活動に触れる機会の増大を図ります。</li> </ul>
これまでの主な取組と実績
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内外から参加者を募集し行うスポーツ・ツーリズムのイベントとして、H28年度から楡形ウインドトレイル、H29年度からたいない高原マラソンを毎年開催している。</li> <li>・みるスポーツの機会として、以下を誘致・開催した。 H29 Wリーグ（バスケット女子日本リーグ）公式戦、新日本プロレス興行 H30 開志国際高等学校男子バスケットボール部公開練習試合 R1 開志国際高等学校バスケットボールフェスティバル</li> </ul>
主な課題と今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> <li>・たいない高原マラソンなどを開催するにあたり、スポーツボランティアの必要性が増している。スポーツボランティアとしてスポーツの魅力に触れ、スポーツを身近に感じることが出来る機会の創出に努めたい。</li> <li>・少子化や、多様な社会の在り方によりスポーツ競技人口が減少してきており、各団体においては人数確保に苦慮している中で、各競技のトップアスリートを招いてのクリニック開催や講演会を開催することにより、各種競技への関心を高めていくとともに競技人口の増加を図り、スポーツの楽しさを見つけてもらう。</li> </ul>

5 施策の今後の方針

施策方針	○ 維持
施策方針に関する説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療・福祉分野の取組を巻き込んで、年齢や性別、障がいの有無等にかかわらず参加したくなるようなプログラムの提供に取り組みます。</li> <li>・各種競技への関心を高めるために、子供も大人でも興味をもてるようなクリニックを開催し、スポーツ人口の増加に努めます。</li> </ul>

Ⅱ 施策を構成する事業等

事業 コード	事務事業名	R1 事業費		R2 当初予算額		達成度	施策目標 に対する 貢献	一次評価 今後の 方向性	二次評価 今後の 方向性	主な事業	担当課
			うち 一般財源		うち 一般財源						
160110	スポーツフェスティバル事業	831	831	771	771	○	△	⑥	⑦		生涯学習課
160111	スポーツバス運行事業	18,001	3,417	3,333	3,333	△	○	③	③		生涯学習課
160112	育てるスポーツ事業	1,376	1,376	1,568	1,568	△	○	②	②		生涯学習課
160311	する・みるスポーツ事業	1,690	1,595	1,678	1,580	○	○	③	③		生涯学習課
160218	総合体育館管理事業	81,341	80,992	80,609	80,242	◎	○	⑤	⑤	○	生涯学習課
160210	総合グラウンド管理事業	55,268	5,352	8,478	8,478	◎	△	③	③		生涯学習課
160211	地域スポーツ施設管理事業	772	768	590	586	◎	△	⑥	⑥		生涯学習課
160212	国際交流公園テニスコート管理事業	50	50	50	50	◎	○	③	③		生涯学習課
160213	サンビレッジ中条管理事業	33	33	134	134	◎	△	⑤	⑤		生涯学習課
160214	黒川体育館管理事業	1,163	967	985	865	◎	△	⑥	⑥		生涯学習課
160215	山村広場管理事業	7,054	6,930	5,087	5,010	○	△	⑤	③		生涯学習課
160216	B&G海洋センター管理事業	695	630	6,160	6,126	△	△	③	③		生涯学習課
160217	胎内ライフル射撃場管理事業	5,737	5,023	5,344	4,238	△	△	⑤	⑤		生涯学習課
160310	競うスポーツ事業	3,928	3,928	3,487	3,487	○	△	⑤	⑤		生涯学習課
169910	一般経費スポーツ振興	5,421	5,421	3,358	3,351	○	○	③	②		生涯学習課
169911	旧村松浜小学校解体事業	29,160	2,960	0	0	◎	△	⑦	⑦		生涯学習課

事務事業評価シート（評価対象年度：令和元年度事業）

事業コード	160110		担当課	生涯学習課	担当係	スポーツ振興係							
事務事業名	スポーツフェスティバル事業			事業年度	令和元年度		会計区分	一般会計					
基本政策	1	子育て・教育・学び		事業コード	大	16	生涯スポーツ	予算科目	款	10	教育費		
施策	6	生涯スポーツ			中	01	習慣的な運動につながる多様なプログラムの提供		項	07	保健体育費		
					小	10	スポーツフェスティバル事業		目	01	保健体育総務費		
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令	スポーツ基本法		関連計画	胎内市スポーツ推進計画				
	法令による義務付け		努力義務+任意		関連条例								

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	老若男女を問わず、一堂に会してスポーツを通じた交流・親睦を図り、競技スポーツだけでなく健康・体力づくりにつながるなど「スポーツを身近に感じることができる」イベントを行う。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>10月14日たいないスポーツフェスティバル 運動会の定番種目を中心に、誰でも参加できる運動会を開催</li> <li>11月23日スポーツビューティーフェスタ フィットネス・ヨガ、食生活改善教室等を中心に、誰でも参加出来る体験型イベントを開催</li> </ul>
実施方法	市が直接実施

2 事業費の状況（※平成29年度～令和元年度は決算額、令和2年度は当初予算額）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総事業費（千円）	879	972	831	771	
国・県支出金	0	0	0	0	
地方債	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	
一般財源	879	972	831	771	
人件費（千円）	1,049	1,058	1,082		
正(h) ※事業費	570	570	570		
臨時(h) ※事業費	0	0	0		
総事業費+人件費	1,928	2,030	1,913		
財源「その他」内訳	スポーツ大会賞品 94千円 印刷製本費 158千円 スポーツ推進委員謝礼 47千円 ほか				

3 指標値の状況

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
産出指標	名称	イベントプログラム数	イベントプログラム数	イベントプログラム数		
	目標	17	17	17		
	実績	13	14	16		
成果指標	名称	イベント参加人数	イベント参加人数	イベント参加人数		
	目標	2,000人	2,000人	1,200人		
	実績	1,677人	1,870人	1,094人		
	目標比	83.9%	93.5%	91.2%		

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
達成度	○	○	○		
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
達成度の判定理由	無関心層や親子（特に女性）へ興味・関心を喚起できる取組となっている。				

5 事業の点検項目

妥当性	事業が市民の需要（ニーズ）に合っているか	△			
	○：需要がある △：一部需要がある ▲：需要が低下している ×：あまり需要が無い				
	施策の目標に対してこの事業が貢献しているか	△			
	○：貢献している △：一部貢献している ×：あまり貢献していない				
	類似した事業が実施されていないか	○			
	○：類似事業がない ×：類似事業がある				
効率性	住民等の参画、協働は可能か	△			
	○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済				
	民間への外部化（業務委託・指定管理者制度等）は可能か	△			
	○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済				
協働または民間への外部化が不可能な理由					
単位コスト	事業実施のプロセスや手続きに改善が必要か	△			
	○：改善の必要なし △：一部改善が必要 ×：改善が必要				
	事業費や人件費に削減の余地はないか	△			
	○：削減の余地なし △：一部削減の余地あり ×：削減の余地あり				
受益者負担は事業コストに対して適正か		○			
○：適正である △：検討・見直しが必要 -：該当しない					
算出方法	一般財源(人件費を除く) / 参加人数				
実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	524円	520円	760円		

6 改革改善の実施状況（平成29年度～）

[H29]	雨天でも中止とせず、ふれすぽ胎内を会場に開催した。
[H30]	当日自由に参加できる「スポーツ縁日」を別途開催した。
[R1]	大型台風が予想されたため、運動会形式のものをふれすぽ胎内にて開催した。
	別日に当日自由に参加出来る体験型イベント「スポーツビューティーフェスタ」を開催した。

7 事業の方向性（案）

今後の方向性	⑥
課題 改及 革び 改今 善後 方の 法対 応・	<ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツ実施率を向上させるためには、ビジネスパーソンや子育て世代への取組強化が必要である。</li> <li>スポーツ実施の阻害要因は、男女とも「忙しい」であり、仕事・家事・育児などによる「多忙感」は、どの世代にも同様となっている。</li> <li>「健康」「体力維持・増進」「家族との交流」をきっかけとするなど、プログラムを工夫していきたい。</li> </ul>

8 二次評価

今後の方向性	⑦			
所見	今後はスポーツフェスティバルは行わず、市民が広く参加できるイベントは千本桜ウォーキングのような別の形で行っていく。する・みるスポーツ事業と統合する。			
今後の方向性				
成果の方向性	拡充	④	②	①
	維持	⑤	③	
	縮小	⑥		
	休廃止	⑦		
		削減	縮小	維持
コスト投入の方向性				

事務事業評価シート（評価対象年度：令和元年度事業）

事業コード	160111		担当課	生涯学習課	担当係	スポーツ振興係				
事務事業名	スポーツバス運行事業		事業年度	令和元年度		会計区分	一般会計			
基本政策	1	子育て・教育・学び	事業コード	大	16	生涯スポーツ	予算科目			
施策	6	生涯スポーツ		中	01	習慣的な運動につながる多様なプログラムの提供		款	10	教育費
				小	11	スポーツバス運行事業		項	07	保健体育費
事務区分	法定受託事務		〇	根拠法令	スポーツ基本法					
	法令による義務付け			関連条例		関連計画	胎内市スポーツ推進計画			

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	市民のスポーツ活動を推進するとともに、スポーツ施設の効率的な利用を図るためスポーツバスを運行する。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツバス2台の運行</li> <li>・スポーツバス2台の法定点検</li> <li>・スポーツ推進以外の教育委員会及び他課の事業支援</li> </ul>
実施方法	市が直接実施+委託

2 事業費の状況（※平成29年度～令和元年度は決算額、令和2年度は当初予算額）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総事業費（千円）	3,913	3,944	18,011	3,333	
国・県支出金	0	0	0	0	
地方債	0	0	0	0	
その他	0	0	14,594	0	
一般財源	3,913	3,944	3,417	3,333	
人件費（千円）	552	557	570		
正(h) ※事業費	300	300	300		
臨時(h) ※事業費	0	0	0		
総事業費+人件費	4,465	4,501	18,581		
財源「その他」内訳	運転員賃金 2,133千円 修繕費 476千円 燃料費 341千円 ほか				

3 指標値の状況

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
産出指標	名称	年間運行回数	年間運行回数	年間運行回数	年間運行回数	年間運行回数
	目標	365回	365回	330回	170回	170回
	実績	371回	405回	278回		
成果指標	名称	年間利用者人数	年間利用者人数	年間利用者人数	年間利用者人数	年間利用者人数
	目標	8,030人	8,030人	8,000人	4,080人	4,080人
	実績	7,819人	8,542人	6,889人		
	目標比	97.4%	106.4%	86.1%		

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
達成度	○	◎	△		
達成度の判定理由	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、3月のバス利用がゼロであったため。				

5 事業の点検項目

妥当性	事業が市民の需要（ニーズ）に合っているか ○：需要がある △：一部需要がある ▲：需要が低下している ×：あまり需要が無い	○				
	施策の目標に対してこの事業が貢献しているか ○：貢献している △：一部貢献している ×：あまり貢献していない	○				
	類似した事業が実施されていないか ○：類似事業がない ×：類似事業がある	○				
	住民等の参画、協働は可能か ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済	△				
効率性	民間への外部化（業務委託・指定管理者制度等）は可能か ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済	△				
	協働または民間への外部化が不可能な理由					
	事業実施のプロセスや手続きに改善が必要か ○：改善の必要なし △：一部改善が必要 ×：改善が必要	△				
	事業費や人件費に削減の余地はないか ○：削減の余地なし △：一部削減の余地あり ×：削減の余地あり	○				
単位コスト	算出方法	一般財源(人件費を除く) / 利用人数				
	実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
		500円	462円	496円		

6 改革改善の実施状況（平成29年度～）

[R1]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ振興基金によりバスを購入し、旧バスは学校教育課へ所管替えした。</li> <li>・NPO法人スポーツクラブたいないへの事業委託実施</li> </ul>
------	---

7 事業の方向性（案）

今後の方向性	③
課題及び今後の改善方法の対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・NPO法人スポーツクラブたいないへの事業委託を継続していく。</li> </ul>

8 二次評価

今後の方向性	③
所見	

		今後の方向性			
成果の方向性	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
コスト投入の方向性	削減		縮小	維持	拡大
	コスト投入の方向性				

事務事業評価シート（評価対象年度：令和元年度事業）

事業コード	160112		担当課	生涯学習課	担当係	スポーツ振興係				
事務事業名	育てるスポーツ事業		事業年度	令和元年度		会計区分	一般会計			
基本政策	1	子育て・教育・学び	事業コード	大	16	生涯スポーツ	予算科目			
施策	6	生涯スポーツ		中	01	習慣的な運動につながる多様なプログラムの提供		款	10	教育費
				小	12	育てるスポーツ事業		項	07	保健体育費
事務区分	法定受託事務		〇	根拠法令	スポーツ基本法					
	法令による義務付け			関連条例		関連計画	胎内市スポーツ推進計画			

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	生涯にわたってスポーツに取り組み、スポーツを自らの健康づくりの礎にするキッカケづくりとなる機会を作るためにイベント等を行い、スポーツ少年団へ補助金を交付している。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ少年団へのスポーツ振興補助金交付</li> <li>・親子イベントの開催</li> <li>・スポーツ教室（キッズ運動等）の開催</li> </ul>
実施方法	市が直接実施+委託

2 事業費の状況（※平成29年度～令和元年度は決算額、令和2年度は当初予算額）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総事業費（千円）	2,919	3,731	1,376	1,568	
国・県支出金	0	0	0	0	
地方債	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	
一般財源	2,919	3,731	1,376	1,568	
人件費（千円）	1,289	1,299	950		
正(h) ※事業費	700	700	500		
臨時(h) ※事業費	0	0	0		
総事業費+人件費	4,208	5,030	2,326		
財源「その他」内訳	胎内市スポーツ振興補助金 1,020千円 スポーツ教室委託料 116千円 スポーツ教室等指導者謝礼 30千円				

3 指標値の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
産出指標	名称	幼児・児童を対象とした運動に親しむ事業数	幼児・児童を対象とした運動に親しむ事業数	幼児・児童を対象とした運動に親しむ事業数	
	目標	8回	8回	6回	
	実績	7回	8回	4回	
成果指標	名称	全国体力テストにおける昭和60年度比較90%達成数	全国体力テストにおける昭和60年度比較90%達成数	全国体力テストにおける昭和60年度比較90%達成数	
	目標	12種目	12種目	7種目	
	実績	9種目	8種目	6種目	
	目標比	75.0%	66.7%	85.7%	

4 達成度

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
達成度	△	△	△		
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
達成度の判定理由	記録的な小雪によるスキー教室の中止、新型コロナウイルス感染拡大の影響によるキッズ運動教室の中止のため。				

5 事業の点検項目

妥当性	事業が市民の需要（ニーズ）に合っているか ○：需要がある △：一部需要がある ▲：需要が低下している ×：あまり需要が無い	○
	施策の目標に対してこの事業が貢献しているか ○：貢献している △：一部貢献している ×：あまり貢献していない	○
	類似した事業が実施されていないか ○：類似事業がない ×：類似事業がある	×
	住民等の参画、協働は可能か ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済	△
	民間への外部化（業務委託・指定管理者制度等）は可能か ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済	○
	協働または民間への外部化が不可能な理由	
効率性	事業実施のプロセスや手続きに改善が必要か ○：改善の必要なし △：一部改善が必要 ×：改善が必要	△
	事業費や人件費に削減の余地はないか ○：削減の余地なし △：一部削減の余地あり ×：削減の余地あり	△
	受益者負担は事業コストに対して適正か ○：適正である △：検討・見直しが必要 -：該当しない	△
	単位コスト 算出方法：補助金を除く事業費/運動に親しむ事業回数 実績：平成29年度 254,571 平成30年度 241,375 令和元年度 89,000 令和2年度 令和3年度	

6 改革改善の実施状況（平成29年度～）

[H30]	・親子で体力測定を行う機会を検討
[R1]	・親子で体力測定を行う機会を提供（ファミリー体力測定） ・幼児、児童のスポーツ教室をNPO法人へスポット的に委託

7 事業の方向性（案）

今後の方向性	②
課題及び今後の対応方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの頃から主体的に運動に関わる良好なスポーツ・運動習慣の確立のために必要な事業である。</li> <li>・幼児期から体を動かすことの楽しさを経験させる取組や親子で参加できる取組など、子ども世代のスポーツ参加促進に向けた方策を実施するとともに、学校教育課と連携・協力し、運動部活動の課題解決や指導体制の充実を図ることが求められている。</li> <li>・廃止した「夏休みスポーツふれあい事業（甲子園ツアー）」に代わる事業として、開志国際高等学校と共同で、スポーツふれあい体験会を検討。</li> </ul>

8 二次評価

今後の方向性	②																																
所見																																	
今後の方向性	<table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td>④</td> <td>②</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>⑤</td> <td>③</td> <td></td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>⑥</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td>⑦</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>拡大</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	拡充	④	②	①	維持	⑤	③		縮小	⑥			休廃止	⑦			削減				縮小				維持				拡大			
拡充	④	②	①																														
維持	⑤	③																															
縮小	⑥																																
休廃止	⑦																																
削減																																	
縮小																																	
維持																																	
拡大																																	
コスト投入の方向性																																	

事務事業評価シート（評価対象年度：令和元年度事業）

事業コード	160311		担当課	生涯学習課	担当係	スポーツ振興係				
事務事業名	する・みるスポーツ事業		事業年度	令和元年度		会計区分	一般会計			
基本政策	1	子育て・教育・学び	事業コード	大	16	生涯スポーツ	予算科目	款	10	教育費
施策	6	生涯スポーツ		中	03	スポーツを通じた交流の促進と地域の活性化		項	07	保健体育費
				小	11	する・みるスポーツ事業		目	01	保健体育総務費
事務区分	法定受託事務		○	根拠法令	スポーツ基本法					
	法令による義務付け			関連条例			関連計画	胎内市スポーツ推進計画		

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	生涯にわたってスポーツに取り組み、スポーツを自らの健康づくりの礎にするキッカケづくりとなる機会を作り、また、マラソン事業への補助金を交付している。
主な実施内容	<p>するスポーツ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>主に働き盛り世代を対象としたスポーツ大会の開催。（野球、バレーボール、ソフトバレーボール大会、高齢者運動会の開催）</li> <li>たいない高原マラソンの開催。（スポーツ振興補助金の交付）</li> <li>楡形ウインドトレイルの開催協力。</li> </ul> <p>みるスポーツ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>胎内カップバスケットボールフェスティバルの開催協力。</li> </ul>
実施方法	市が直接実施＋補助・負担

2 事業費の状況（※平成29年度～令和元年度は決算額、令和2年度は当初予算額）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総事業費（千円）	2,498	1,804	1,690	1,678	
国・県支出金	0	0	0	0	
地方債	0	0	0	0	
その他	98	98	95	98	
一般財源	2,400	1,706	1,595	1,580	
人件費（千円）	1,473	1,485	1,519		
正(h) ※事業費	800	800	800		
臨時(h) ※事業費	0	0	0		
総事業費＋人件費	3,971	3,289	3,209		
財源「その他」内訳	胎内市スポーツ振興補助金 800千円 自動車借上料 140千円				
事業費の主な支出内容					

3 指標値の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
産出指標	名称	スポーツ・ツーリズムイベント回数	スポーツ・ツーリズムイベント回数	スポーツ・ツーリズムイベント開催回数	スポーツ・ツーリズムイベント開催回数	スポーツ・ツーリズムイベント開催回数
	目標	2回	2回	2回以上	2回以上	2回以上
	実績	2回	2回	2回		
成果指標	名称	スポーツ・ツーリズムイベント参加者数	スポーツ・ツーリズムイベント参加者数	スポーツ・ツーリズムイベント参加者数		
	目標	750人	750人	750人		
	実績	563人	803人	735人		
	目標比	75.1%	107.1%	98.0%		

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
達成度	△	◎	○		
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
達成度の判定理由	スポーツ関係団体との連携等により、日常生活の中で自分に適した運動やスポーツに親しむ機会の拡充に繋がっている。				

5 事業の点検項目

妥当性	事業が市民の需要（ニーズ）に合っているか	○
	○：需要がある △：一部需要がある ▲：需要が低下している ×：あまり需要が無い	
	施策の目標に対してこの事業が貢献しているか	○
	○：貢献している △：一部貢献している ×：あまり貢献していない	
効率性	類似した事業が実施されていないか	×
	○：類似事業がない ×：類似事業がある	
	住民等の参画、協働は可能か	○
	○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済	
単位コスト	民間への外部化（業務委託・指定管理者制度等）は可能か	○
	○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済	
	協働または民間への外部化が不可能な理由	
	事業実施のプロセスや手続きに改善が必要か	△
単位コスト	○：改善の必要なし △：一部改善が必要 ×：改善が必要	
	事業費や人件費に削減の余地はないか	△
	○：削減の余地なし △：一部削減の余地あり ×：削減の余地あり	
	受益者負担は事業コストに対して適正か	△
単位コスト	○：適正である △：検討・見直しが必要 -：該当しない	
	算出方法	スポーツ振興補助金／スポーツツーリズムイベント参加者
単位コスト	実績	平成29年度 888円 平成30年度 623円 令和元年度 1,088円 令和2年度 令和3年度

6 改革改善の実施状況（平成29年度～）

[H29]	・マラソンコースの変更（新規開催）
[H30]	・誰でも筋トレ相談会の実施 ・筋肉トレーニング相談会の実施 ・たいない高原マラソンの開催日の変更
[H31]	・胎内カップバスケットボールフェスティバルへの協力

7 事業の方向性（案）

今後の方向性	③
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後のスポーツ活動への関わり方として、「特に関わりたと思わない」割合が16.7%（H29調査）であり、これまでスポーツに無関心であった人々がスポーツに関われるように推進していく。</li> <li>スポーツ実施率を向上させるには、特に女性向けのアプローチが必要となっている。</li> <li>みるスポーツは、年齢や体力を問わない気軽な参加方法であることから、誘致活動を進め、定期的に見る機会を提供したい。</li> <li>スポーツボランティアの確保・育成を進めたい。</li> </ul>

8 二次評価

今後の方向性	③																					
所見	今後の方向性	③																				
	成果の方向性	<table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td>×</td> <td>④</td> <td>②</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td>⑤</td> <td>③</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td>⑥</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td>⑦</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>	拡充	×	④	②	①	維持	×	⑤	③	×	縮小	×	⑥	×	×	休廃止	⑦	×	×	×
	拡充	×	④	②	①																	
	維持	×	⑤	③	×																	
	縮小	×	⑥	×	×																	
休廃止	⑦	×	×	×																		
削減	縮小	維持	拡大																			
コスト投入の方向性																						

事務事業評価シート（評価対象年度：令和元年度事業）

事業コード	160218		担当課	生涯学習課	担当係	スポーツ振興係				
事務事業名	総合体育館管理事業		事業年度	令和元年度		会計区分	一般会計			
基本政策	1	子育て・教育・学び	事業コード	大	16	生涯スポーツ	予算科目	款	10	教育費
施策	6	生涯スポーツ		中	02	施設の適切な維持管理と利用促進		項	07	保健体育費
				小	18	総合体育館管理事業		目	02	体育施設費
事務区分	法定受託事務		○	根拠法令						
	法令による義務付け			任意	関連条例	胎内市社会体育施設条例	関連計画	胎内市スポーツ推進計画／胎内市公共施設等総合管理計画		

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	総合体育館の効率的な管理運営、効果的な整備を行い、生涯スポーツの振興を図る。 ・平成28年5月14日オープン。 ランニングコース（1周215メートル） トレーニングルーム 武道館 柔道場、剣道場が各1面、3人立の弓道場
主な実施内容	・第2期指定管理期間（H31～R5） ・モニタリングの実施 ・トレーニング機器等の賃借
実施方法	指定管理

2 事業費の状況（※平成29年度～令和元年度は決算額、令和2年度は当初予算額）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総事業費（千円）	103,072	103,046	81,341	80,609	
国・県支出金	0	0	0	0	
地方債	0	0	0	0	
その他	7,845	7,815	349	367	
一般財源	95,227	95,231	80,992	80,242	
人件費（千円）	828	928	950		
正(h) ※事業費	450	500	500		
臨時(h) ※事業費	0	0	0		
総事業費+人件費	103,900	103,974	82,291		
財源「その他」内訳	敷地使用料 349千円				
事業費の主な支出内容	社会体育施設管理運営委託料 73,700千円 トレーニング機器等賃借料 6,358千円 修繕費 599千円				

3 指標値の状況

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
産出指標	名称	トレーニングルーム利用可能日数	トレーニングルーム利用可能日数	トレーニングルーム利用可能日数	施設利用可能日数	施設利用可能日数
	目標	340日	340日	345日	345日	345日
	実績	340日	345日	345日		
成果指標	名称	トレーニングルーム年間利用者人数	トレーニングルーム年間利用者人数	トレーニングルーム年間利用者人数	トレーニングルーム年間利用者数	トレーニングルーム年間利用者数
	目標	15,000人	15,000人	15,000人	20,700人	20,700人
	実績	19,479人	22,980人	22,288人		
	目標比	129.9%	153.2%	148.6%		

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
達成度	◎	◎	◎		
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
達成度の判定理由	指定管理者制度を導入し、効果的・効率的な管理運営を目指しつつ、スポーツ推進の拠点施設として、より市民にとって身近な施設となるよう努めている。				

5 事業の点検項目

妥当性	事業が市民の需要（ニーズ）に合っているか ○：需要がある △：一部需要がある ▲：需要が低下している ×：あまり需要が無い	○
	施策の目標に対してこの事業が貢献しているか ○：貢献している △：一部貢献している ×：あまり貢献していない	○
	類似した事業が実施されていないか ○：類似事業がない ×：類似事業がある	○
住民等の参画、協働は可能か ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済	住民等の参画、協働は可能か	△
	民間への外部化（業務委託・指定管理者制度等）は可能か ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済	実施
効率性	事業実施のプロセスや手続きに改善が必要か ○：改善の必要なし △：一部改善が必要 ×：改善が必要	△
	事業費や人件費に削減の余地はないか ○：削減の余地なし △：一部削減の余地あり ×：削減の余地あり	△
	受益者負担は事業コストに対して適正か ○：適正である △：検討・見直しが必要 -：該当しない	△
単位コスト	算出方法 一般財源（人件費を除く） ／利用人数（総合体育館全体利用人数）	
	実績 平成29年度 平成30年度 令和元年度 令和2年度 令和3年度	880円 868円 553円

6 改革改善の実施状況（平成29年度～）

[H28]	・指定管理者制度導入
[H30]	・第2期指定管理期間（次年度以降）の管理方法検討
[R1]	・第2期指定管理期間（H31～R5）

7 事業の方向性（案）

今後の方向性	⑤
課題	・平成28年度から指定管理者制度を導入し、第1期指定管理期間（3年間）は、適正に施設の維持管理がなされており評価できる。 また、トレーニングルームやランニングレーンにおいては、個人が気軽にスポーツ・運動に取り組む市民が増加傾向にあり、市民ニーズを捉えた効果的な施策を講じ、さらにスポーツ・運動に取り組もうとする機運の醸成につなげたい。 ・平成31年度より第2期指定管理期間（5年間）に入り、これまでの指定管理者及び指定管理施設等を見直し、今まで以上に市民ニーズに合った管理運営と経費削減を図る。

8 二次評価

今後の方向性	⑤																					
所見	今後の方向性	⑤																				
	成果の方向性	<table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td>④</td> <td>②</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>⑤</td> <td>③</td> <td>④</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>⑥</td> <td>⑦</td> <td>⑧</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td>⑦</td> <td>⑧</td> <td>⑨</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>⑧</td> <td>⑨</td> <td>⑩</td> </tr> </table>	拡充	④	②	①	維持	⑤	③	④	縮小	⑥	⑦	⑧	休廃止	⑦	⑧	⑨	削減	⑧	⑨	⑩
	拡充	④	②	①																		
	維持	⑤	③	④																		
	縮小	⑥	⑦	⑧																		
休廃止	⑦	⑧	⑨																			
削減	⑧	⑨	⑩																			
コスト投入の方向性	削減 縮小 維持 拡大																					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和元年度事業）

事業コード	160210		担当課	生涯学習課	担当係	スポーツ振興係							
事務事業名	総合グラウンド管理事業			事業年度	令和元年度		会計区分	一般会計					
基本政策	1	子育て・教育・学び		事業コード	大	16	生涯スポーツ	予算科目	款	10	教育費		
施策	6	生涯スポーツ			中	02	施設の適切な維持管理と利用促進		項	07	保健体育費		
					小	10	総合グラウンド管理事業		目	02	体育施設費		
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令								
	法令による義務付け		努力義務＋任意		関連条例	胎内市社会体育施設条例		関連計画	胎内市スポーツ推進計画／胎内市公共施設等総合管理計画				

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	体育館・陸上競技場・野球場の効率的な管理運営、効果的な整備を行い、生涯スポーツの振興を図る。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>第2期指定管理期間（H31～R5）</li> <li>陸上競技場写真判定機等の賃借</li> <li>第3種公認陸上競技場検定の受験</li> <li>公認検定補修工事の実施</li> </ul>
実施方法	指定管理

2 事業費の状況（※平成29年度～令和元年度は決算額、令和2年度は当初予算額）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総事業費（千円）	5,688	6,230	55,268	8,478	
国・県支出金	0	0	0	0	
地方債	0	0	0	0	
その他	876	840	49,916	0	
一般財源	4,812	5,390	5,352	8,478	
人件費（千円）	276	316	380		
正(h) ※事業費	150	170	200		
臨時(h) ※事業費	0	0	0		
総事業費＋人件費	5,964	6,546	55,648		
財源「その他」内訳	スポーツ振興くじ助成 スポーツ振興基金		20,000千円 29,916千円		
事業費の主な支出内容	写真判定装置賃借料 ラグビーボール賃借料 公認検定補修工事費		4,176千円 998千円 49,916千円		

3 指標値の状況

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
産出指標	名称	施設利用可能日数	施設利用可能日数	施設利用可能日数	施設利用可能日数	施設利用可能日数
	目標	357日	357日	357日	357日	357日
	実績	357日	357日	357日		
成果指標	名称	年間利用者人数	年間利用者人数	年間利用者数	年間利用者数	年間利用者数
	目標	35,800人	35,800人	35,800人	35,800人	35,800人
	実績	37,275人	36,500人	36,731人		
	目標比	104.1%	102.0%	102.6%		

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
達成度	◎	◎	◎		
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
達成度の判定理由	陸上競技会や学校部活動、グラウンドゴルフなど、広く利用されている。				

5 事業の点検項目

事業が市民の需要（ニーズ）に合っているか	○：需要がある △：一部需要がある ▲：需要が低下している ×：あまり需要が無い	△
	施策の目標に対してこの事業が貢献しているか	△
	○：貢献している △：一部貢献している ×：あまり貢献していない	
類似した事業が実施されていないか	○：類似事業がない ×：類似事業がある	○
	住民等の参画、協働は可能か	△
	○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済	
民間への外部化（業務委託・指定管理者制度等）は可能か	○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済	実施
	協働または民間への外部化が不可能な理由	
	事業実施のプロセスや手続きに改善が必要か	△
事業費や人件費に削減の余地はないか	○：改善の必要なし △：一部改善が必要 ×：改善が必要	△
	○：削減の余地なし △：一部削減の余地あり ×：削減の余地あり	
	受益者負担は事業コストに対して適正か	△
効率性	○：適正である △：検討・見直しが必要 -：該当しない	
	算出方法	一般財源（人件費を除く）／利用人数 ・指定管理料は総合体育館で計上
	実績	平成29年度 129円 平成30年度 148円 令和元年度 1,505円 令和2年度 令和3年度

6 改革改善の実施状況（平成29年度～）

[H28]	指定管理者制度導入
[H30]	第2期指定管理期間（次年度以降）の管理方法検討
[R1]	第2期指定管理期間（H31～R5）、3種公認検定補修工事を実施

7 事業の方向性（案）

今後の方向性	③
課題及び今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>公認検定の指摘事項として、必備器具の不備があった。また、各備品の保証期間が終わり、修繕等に多額のコストを有する。</li> <li>平成31年度より第2期指定管理期間（5年間）に入り、これまでの指定管理者及び指定管理施設等を見直し、今まで以上に市民ニーズに合った管理運営と経費削減を図る。</li> </ul>

8 二次評価

今後の方向性	③																				
所見																					
成果の方向性	<table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td>④</td> <td>②</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>⑤</td> <td>③</td> <td></td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>⑥</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td>⑦</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>縮小</td> <td>維持 拡大</td> </tr> </table>	拡充	④	②	①	維持	⑤	③		縮小	⑥			休廃止	⑦				削減	縮小	維持 拡大
拡充	④	②	①																		
維持	⑤	③																			
縮小	⑥																				
休廃止	⑦																				
	削減	縮小	維持 拡大																		
コスト投入の方向性																					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和元年度事業）

事業コード	160211		担当課	生涯学習課	担当係	スポーツ振興係					
事務事業名	地域スポーツ施設管理事業			事業年度	令和元年度		会計区分	一般会計			
基本政策	1	子育て・教育・学び		事業コード	大	16	生涯スポーツ	款	10	教育費	
施策	6	生涯スポーツ			中	02	施設の適切な維持管理と利用促進		項	07	保健体育費
					小	11	地域スポーツ施設管理事業		目	02	体育施設費
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令						
	法令による義務付け		任意		関連条例	胎内市社会体育施設条例	関連計画	胎内市スポーツ推進計画／胎内市公共施設等総合管理計画			

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	地域スポーツ施設（築地、竹島、高浜、本条、柴橋）の効率的な管理運営、効果的な整備を行い、生涯スポーツの振興を図る。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>第2期指定管理期間（H31～）</li> <li>旧乙地域スポーツ施設の土地借地</li> </ul>
実施方法	指定管理

2 事業費の状況（※平成29年度～令和元年度は決算額、令和2年度は当初予算額）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総事業費（千円）	382	349	772	590	
国・県支出金	0	0	0	0	
地方債	0	0	0	0	
その他	308	331	4	4	
一般財源	74	18	768	586	
人件費（千円）	184	186	190		
正(h) ※事業費	100	100	100		
臨時(h) ※事業費	0	0	0		
総事業費+人件費	566	535	962		
財源「その他」内訳	修繕費 330千円 除草作業等委託料 200千円 乙地域施設借地料 125千円				
事業費の主な支出内容					

3 指標値の状況

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
産出指標	名称	地域スポーツ施設数（屋内運動場）	地域スポーツ施設数（屋内運動場）	地域スポーツ施設数（屋内運動場）	地域スポーツ施設数（屋内運動場）	地域スポーツ施設数（屋内運動場）
	目標	6か所	6か所	5か所	5か所	5か所
	実績	6か所	6か所	5か所		
成果指標	名称	年間利用者数	年間利用者数	年間利用者数	年間利用者数	年間利用者数
	目標	13,700人	13,700人	13,700人	15,000人	13,800人
	実績	16,886人	16,667人	15,005人		
	目標比	123.2%	121.7%	109.5%		

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
達成度	◎	◎	◎		
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
達成度の判定理由	施設の老朽化が進行しているが、人工芝を張りゲートボールコートが整備された柴橋地域スポーツ施設、中学校部活動での利用がある本条地域スポーツ施設は、他の地域スポーツ施設に比べ利用が多い。				

5 事業の点検項目

妥当性	事業が市民の需要（ニーズ）に合っているか	△
	○：需要がある △：一部需要がある ▲：需要が低下している ×：あまり需要が無い	
	施策の目標に対してこの事業が貢献しているか	△
効率性	○：貢献している △：一部貢献している ×：あまり貢献していない	
	類似した事業が実施されていないか	×
	○：類似事業がない ×：類似事業がある	
	住民等の参画、協働は可能か	△
一部実施	○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済	
	民間への外部化（業務委託・指定管理者制度等）は可能か	一部実施
	○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済	
	協働または民間への外部化が不可能な理由	所在地の自治会等へ管理を委託することについての検討は可能。
	事業実施のプロセスや手続きに改善が必要か	△
単位コスト	○：改善の必要なし △：一部改善が必要 ×：改善が必要	
	事業費や人件費に削減の余地はないか	△
	○：削減の余地なし △：一部削減の余地あり ×：削減の余地あり	
算出方法	一般財源（人件費を除く）／利用人数	
	・指定管理料は総合体育館で計上	
実績	平成29年度	4円
	令和元年度	51円

6 改革改善の実施状況（平成29年度～）

[H28]	指定管理者制度導入
[H30]	第2期指定管理期間（次年度以降）の管理方法検討
[H31]	乙地域スポーツ施設の廃止

7 事業の方向性（案）

今後の方向性	⑥
課題及び改善後の対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成28～30年度の第1期指定管理期間を経て、第2期指定管理期間の管理運営方法を決定し実施する。</li> <li>老朽化が進んでいるが、大規模改修等は行わないこととし、保有する施設を選定していく必要がある。</li> </ul>

8 二次評価

今後の方向性	⑥	
所見	成果の方向性	拡充 <input checked="" type="checkbox"/> ④ <input checked="" type="checkbox"/> ② <input checked="" type="checkbox"/> ① 維持 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤ <input checked="" type="checkbox"/> ③ <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> ⑥ <input checked="" type="checkbox"/> 休廃止 <input checked="" type="checkbox"/> ⑦ <input checked="" type="checkbox"/> 削減 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大
	コスト投入の方向性	

事務事業評価シート（評価対象年度：令和元年度事業）

事業コード	160212		担当課	生涯学習課	担当係	スポーツ振興係					
事務事業名	国際交流公園テニスコート管理事業			事業年度	令和元年度		会計区分	一般会計			
基本政策	1	子育て・教育・学び		事業コード	大	16	生涯スポーツ	款	10	教育費	
施策	6	生涯スポーツ			中	02	施設の適切な維持管理と利用促進		項	07	保健体育費
					小	12	国際交流公園テニスコート管理事業		目	02	体育施設費
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令						
	法令による義務付け		任意		関連条例	胎内市都市公園条例	関連計画	胎内市スポーツ推進計画／胎内市公共施設等総合管理計画			

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	国際交流公園テニスコートの効率的な管理運営、効果的な整備を行い、生涯スポーツの振興を図る。 ・平成4年度に開設・砂入り人工芝コート（オムニコート）8面
主な実施内容	・国際交流公園テニスコートの維持・管理 ・利用者へ貸し出し等用務（業務委託先/NPO法人スポーツクラブたいない）
実施方法	指定管理

2 事業費の状況（※平成29年度～令和元年度は決算額、令和2年度は当初予算額）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総事業費（千円）	40,089	764	50	50	
国・県支出金	0	0	0	0	
地方債	11,800	0	0	0	
その他	23,859	127	0	0	
一般財源	4,430	637	50	50	
人件費（千円）	184	186	95		
正(h) ※事業費	100	100	50		
臨時(h) ※事業費	0	0	0		
総事業費+人件費	40,273	950	145		
財源「その他」内訳	修繕費 50千円				
事業費の主な支出内容					

3 指標値の状況

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
産出指標	名称	施設利用可能日数	施設利用可能日数	施設利用可能日数	施設利用可能日数	施設利用可能日数
	目標	244日	244日	244日	244日	244日
	実績	200日	259日	258日		
成果指標	名称	年間利用者人数	年間利用者人数	年間利用者人数	年間利用者人数	年間利用者人数
	目標	11,200人	11,200人	11,200人	11,200人	11,200人
	実績	10,724人	10,534人	11,835人		
	目標比	95.8%	94.1%	105.7%		

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
達成度	○	○	◎		
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
達成度の判定理由	大会や学校部活動などに利用され、市民が生涯スポーツとしてテニスを選択することに十分貢献している。				

5 事業の点検項目

事業が市民の需要（ニーズ）に合っているか	○：需要がある △：一部需要がある ▲：需要が低下している ×：あまり需要が無い	△		
	施策の目標に対してこの事業が貢献しているか	○		
	類似した事業が実施されていないか	○		
妥当性	○：類似事業がない ×：類似事業がある			
	住民等の参画、協働は可能か	△		
	民間への外部化（業務委託・指定管理者制度等）は可能か	実施		
効率性	○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済			
	協働または民間への外部化が不可能な理由			
	事業実施のプロセスや手続きに改善が必要か	△		
単位コスト	○：改善の必要なし △：一部改善が必要 ×：改善が必要			
	事業費や人件費に削減の余地はないか	△		
	受益者負担は事業コストに対して適正か	△		
算出方法 一般財源（人件費を除く）／利用人数				
実績				
平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
413円	60円	5円		

6 改革改善の実施状況（平成29年度～）

[H29]	・人工芝張替
[H30]	・次年度以降の管理方法検討（指定管理者制度導入へ）
[R1]	・指定管理者制度導入（NPO法人スポーツクラブたいない）

7 事業の方向性（案）

今後の方向性	③
課題 改及 革び 改今 善後 方の 法対 応・	・平成31年度より指定管理者制度を導入し、市民ニーズに合った管理運営と経費削減を行った。 ・市民が生涯スポーツとしてテニスを選択することに十分貢献している施設であり、今後も継続して利用できるように努めることとする。 ・国際交流公園テニスコート同様にオムニコートである鴻ノ巣公園テニスコートについても指定管理者制度を導入した。

8 二次評価

今後の方向性	③				
所見	成果の方向性	拡充	④	②	①
	維持	⑤	③		
	縮小	⑥			
	休廃止	⑦			
	削減	縮小	維持	拡大	
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和元年度事業）

事業コード	160213		担当課	生涯学習課	担当係	スポーツ振興係		
事務事業名	サンビレッジ中条管理事業		事業年度	令和元年度	会計区分	一般会計		
基本政策	1	子育て・教育・学び	事業コード	大 16	生涯スポーツ	予算科目	款 10	教育費
施策	6	生涯スポーツ		中 02	施設の適切な維持管理と利用促進		項 07	保健体育費
				小 13	サンビレッジ体育館管理事業		目 02	体育施設費
事務区分	法定受託事務		○	根拠法令				
	法令による義務付け			関連条例	胎内市社会体育施設条例	関連計画	胎内市スポーツ推進計画／胎内市公共施設等総合管理計画	

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	サンビレッジ中条の効率的な管理運営、効果的な整備を行い、生涯スポーツの振興を図る。 ・平成11年度に開設
主な実施内容	・サンビレッジ中条の維持・管理 ・利用者へ貸し出し等用務 (業務委託先/NPO法人スポーツクラブたいない)
実施方法	指定管理

2 事業費の状況（※平成29年度～令和元年度は決算額、令和2年度は当初予算額）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総事業費（千円）	7,464	7,310	33	134	
国・県支出金	0	0	0	0	
地方債	0	0	0	0	
その他	501	559	0	0	
一般財源	6,963	6,751	33	134	
人件費（千円）	184	260	95		
正(h) ※事業費	100	140	50		
臨時(h) ※事業費	0	0	0		
総事業費+人件費	7,648	7,570	128		
財源「その他」内訳	火災保険料 30千円				
事業費の主な支出内容					

3 指標値の状況

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
産出指標	名称	施設利用可能日数	施設利用可能日数	施設利用可能日数	施設利用可能日数	施設利用可能日数
	目標	357日	357日	357日	357日	357日
	実績	357日	357日	357日		
成果指標	名称	年間利用者人数	年間利用者人数	年間利用者人数	年間利用者人数	年間利用者人数
	目標	15,800人	15,800人	15,800人	15,800人	15,800人
	実績	17,557人	15,707人	15,951人		
	目標比	111.1%	99.4%	101.0%		

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
達成度	◎	○	◎		
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
達成度の判定理由	高台に立地されているため「交通に不便だ」という意見もあるが、定期利用団体等に利用されている。				

5 事業の点検項目

妥当性	事業が市民の需要（ニーズ）に合っているか	△
	○：需要がある △：一部需要がある ▲：需要が低下している ×：あまり需要が無い	
	施策の目標に対してこの事業が貢献しているか	△
効率性	○：貢献している △：一部貢献している ×：あまり貢献していない	
	類似した事業が実施されていないか	×
	○：類似事業がない ×：類似事業がある	
	住民等の参画、協働は可能か	○
	○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済	
実施	民間への外部化（業務委託・指定管理者制度等）は可能か	実施
	○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済	
	協働または民間への外部化が不可能な理由	
効率性	事業実施のプロセスや手続きに改善が必要か	△
	○：改善の必要なし △：一部改善が必要 ×：改善が必要	
	事業費や人件費に削減の余地はないか	△
	○：削減の余地なし △：一部削減の余地あり ×：削減の余地あり	
単位コスト	受益者負担は事業コストに対して適正か	△
	○：適正である △：検討・見直しが必要 -：該当しない	
	算出方法	一般財源(人件費を除く) / 利用人数
実績	平成29年度	397円
	平成30年度	430円
実績	令和元年度	2円
	令和2年度	
実績	令和3年度	
	令和3年度	

6 改革改善の実施状況（平成29年度～）

[H30]	・次年度以降の管理方法検討（指定管理者制度導入へ）
[R1]	・指定管理者制度導入（NPO法人スポーツクラブたいない）

7 事業の方向性（案）

今後の方向性	⑤
課題及び今後の改善方法の対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成31年度より指定管理者制度を導入し、市民ニーズに合った管理運営と経費削減を行った。</li> <li>主にソフトテニスの定期活動団体から、今後も継続的に利用したいという要望がある。</li> <li>立地的に近い開志国際高等学校と連携等について協議したい。</li> </ul>

8 二次評価

今後の方向性	⑤																																	
所見	今後の方向性	⑤																																
	成果の方向性	<table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td>④</td> <td>②</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>⑤</td> <td>③</td> <td>④</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>⑥</td> <td>⑦</td> <td>⑧</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td>⑦</td> <td>⑧</td> <td>⑨</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>⑧</td> <td>⑨</td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>⑨</td> <td>⑩</td> <td>⑪</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>⑩</td> <td>⑪</td> <td>⑫</td> </tr> <tr> <td>拡大</td> <td>⑪</td> <td>⑫</td> <td>⑬</td> </tr> </table>	拡充	④	②	①	維持	⑤	③	④	縮小	⑥	⑦	⑧	休廃止	⑦	⑧	⑨	削減	⑧	⑨	⑩	縮小	⑨	⑩	⑪	維持	⑩	⑪	⑫	拡大	⑪	⑫	⑬
	拡充	④	②	①																														
	維持	⑤	③	④																														
	縮小	⑥	⑦	⑧																														
休廃止	⑦	⑧	⑨																															
削減	⑧	⑨	⑩																															
縮小	⑨	⑩	⑪																															
維持	⑩	⑪	⑫																															
拡大	⑪	⑫	⑬																															
コスト投入の方向性																																		

事務事業評価シート（評価対象年度：令和元年度事業）

事業コード	160214		担当課	生涯学習課	担当係	スポーツ振興係					
事務事業名	黒川体育館管理事業			事業年度	令和元年度		会計区分	一般会計			
基本政策	1	子育て・教育・学び		事業コード	大	16	生涯スポーツ	款	10	教育費	
施策	6	生涯スポーツ			中	02	施設の適切な維持管理と利用促進		項	07	保健体育費
					小	14	黒川体育館管理事業		目	02	体育施設費
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令						
	法令による義務付け		任意		関連条例	胎内市社会体育施設条例	関連計画	胎内市スポーツ推進計画／胎内市公共施設等総合管理計画			

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	黒川体育館及び黒川多目的広場の効率的な管理運営、効果的な整備を行い、生涯スポーツの振興を図る。 ・昭和42年度開館 ・平成25年度外壁剥離応急処置
主な実施内容	・黒川体育館の維持・管理（直営） ・黒川多目的広場は第2期指定管理期間（H31～） ・利用者へ貸し出し等用務
実施方法	指定管理＋市が直接実施

2 事業費の状況（※平成29年度～令和元年度は決算額、令和2年度は当初予算額）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総事業費（千円）	655	1,032	1,163	985	
国・県支出金	0	0	0	0	
地方債	0	0	0	0	
その他	169	224	196	120	
一般財源	486	808	967	865	
人件費（千円）	110	130	133		
正(h) ※事業費	60	70	70		
臨時(h) ※事業費	0	0	0		
総事業費＋人件費	765	1,162	1,296		
財源「その他」内訳	使用料		196千円		
事業費の主な支出内容	光熱水費		623千円		
	体育館PCB調査委託料		156千円		
	多目的広場管理委託料		140千円 ほか		

3 指標値の状況

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
産出指標	名称	施設利用可能日数	施設利用可能日数	施設利用可能日数	施設利用可能日数	施設利用可能日数
	目標	357日	357日	357日	357日	357日
	実績	357日	357日	357日		
成果指標	名称	年間利用者人数	年間利用者人数	年間利用者数	年間利用者数	年間利用者数
	目標	6,300人	6,300人	6,300人	7,000人	6,000人
	実績	7,517人	7,493人	6,766人		
	目標比	119.3%	118.9%	107.4%		

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
達成度	◎	◎	◎		
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
達成度の判定理由	建築後40年以上経過しており、外壁の剥離など老朽化が著しいが、主にソフトテニスやフットサルの活動場所として利用されている。				

5 事業の点検項目

妥当性	事業が市民の需要（ニーズ）に合っているか	△
	○：需要がある △：一部需要がある ▲：需要が低下している ×：あまり需要が無い	
	施策の目標に対してこの事業が貢献しているか	△
	○：貢献している △：一部貢献している ×：あまり貢献していない	
	類似した事業が実施されていないか	×
	○：類似事業がない ×：類似事業がある	
	住民等の参画、協働は可能か	△
	○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済	
	民間への外部化（業務委託・指定管理者制度等）は可能か	△
	○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済	
協働または民間への外部化が不可能な理由	令和3年度を使用可能期限としているが、所在地の自治会等へ管理を委託することについての検討は可能	
効率性	事業実施のプロセスや手続きに改善が必要か	△
	○：改善の必要なし △：一部改善が必要 ×：改善が必要	
	事業費や人件費に削減の余地はないか	△
	○：削減の余地なし △：一部削減の余地あり ×：削減の余地あり	
受益者負担は事業コストに対して適正か	△	
○：適正である △：検討・見直しが必要 -：該当しない		
単位コスト	算出方法	一般財源（人件費を除く）／利用人数
	実績	平成29年度 65円 平成30年度 108円 令和元年度 143円 令和2年度 令和3年度

6 改革改善の実施状況（平成29年度～）

[H30]	・外壁落下対応フェンス設置 ・令和3年度（～R4.3.31）まで使用可能とする安全確保
[H31]	・黒川中町へ黒川多目的広場管理委託

7 事業の方向性（案）

今後の方向性	⑥
課題及び改善後の対応	・経年劣化により外壁が落下するなど、建築後40年以上が経過している影響が出ているため、安全確保に努める。 ・屋内運動場は比較的良好な状況が維持されており、使用期限としている令和3年度まで供用を続けたい。

8 二次評価

今後の方向性	⑥	
所見	今後の方向性	⑥
	成果の方向性	拡充 <input checked="" type="checkbox"/> ④ <input checked="" type="checkbox"/> ② <input checked="" type="checkbox"/> ① 維持 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤ <input checked="" type="checkbox"/> ③ <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> ⑥ <input checked="" type="checkbox"/> 休廃止 <input checked="" type="checkbox"/> ⑦ <input checked="" type="checkbox"/> 削減 縮小 維持 拡大
	コスト投入の方向性	

事務事業評価シート（評価対象年度：令和元年度事業）

事業コード	160215		担当課	生涯学習課	担当係	スポーツ振興係					
事務事業名	山村広場管理事業			事業年度	令和元年度		会計区分	一般会計			
基本政策	1	子育て・教育・学び		事業コード	大	16	生涯スポーツ	款	10	教育費	
施策	6	生涯スポーツ			中	02	施設の適切な維持管理と利用促進		項	07	保健体育費
					小	15	山村広場（胎内球場）管理事業		目	02	体育施設費
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令						
	法令による義務付け		努力義務＋任意		関連条例	胎内市社会体育施設条例		関連計画	胎内市スポーツ推進計画／胎内市公共施設等総合管理計画		

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	胎内球場及び芝グラウンドの効率的な管理運営、効果的な整備を行い、生涯スポーツの振興を図る。スポーツ合宿の推進に寄与する。
主な実施内容	・胎内球場及び芝グラウンドの維持・管理（直営） ・利用者へ貸し出し等業務
実施方法	市が直接実施

2 事業費の状況（※平成29年度～令和元年度は決算額、令和2年度は当初予算額）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総事業費（千円）	48,796	6,123	7,054	5,087	
国・県支出金	0	0	0	0	
地方債	40,000	0	0	0	
その他	250	101	124	77	
一般財源	8,546	6,022	6,930	5,010	
人件費（千円）	552	557	570		
正(h) ※事業費	300	300	300		
臨時(h) ※事業費	0	0	0		
総事業費＋人件費	49,348	6,680	7,624		
財源「その他」内訳	使用料 124千円				
事業費の主な支出内容	管理補助員賃金 1,427千円 光熱水費 1,879千円 修繕費 568千円 ほか				

3 指標値の状況

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
産出指標	名称	施設利用可能日数	施設利用可能日数	施設利用可能日数	施設利用可能日数	施設利用可能日数
	目標	210日	210日	210日	200日	200日
	実績	150日	206日	224日		
成果指標	名称	年間利用者人数	年間利用者人数	年間利用者人数	年間利用者人数	年間利用者人数
	目標	4,000人	4,000人	4,000人	3,000人	3,000人
	実績	2,278人	2,285人	2,455人		
	目標比	57.0%	57.1%	61.1%		

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	△	△	○		
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
達成度の判定理由	胎内球場を中心としたスポーツ合宿で利用されてきたが、市民が様々な形で利用できる機会を提供したい。				

5 事業の点検項目

妥当性	事業が市民の需要（ニーズ）に合っているか	△
	○：需要がある △：一部需要がある ▲：需要が低下している ×：あまり需要が無い	
	施策の目標に対してこの事業が貢献しているか	△
	○：貢献している △：一部貢献している ×：あまり貢献していない	
	類似した事業が実施されていないか	○
	○：類似事業がない ×：類似事業がある	
効率性	住民等の参画、協働は可能か	△
	○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済	
	民間への外部化（業務委託・指定管理者制度等）は可能か	△
	○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済	
単位コスト	協働または民間への外部化が不可能な理由	
	事業実施のプロセスや手続きに改善が必要か	△
	○：改善の必要なし △：一部改善が必要 ×：改善が必要	
	事業費や人件費に削減の余地はないか	△
	○：削減の余地なし △：一部削減の余地あり ×：削減の余地あり	
算出方法	一般財源（人件費を除く）／利用人数	
	実績	平成29年度 3,752円 平成30年度 2,635円 令和元年度 2,823円 令和2年度 令和3年度

6 改革改善の実施状況（平成29年度～）

[H29]	・辺地債を活用した改修工事を実施した
[R1]	・胎内キャンプ場の休止 ・山村広場条例を廃止し、社会体育施設条例を一部改正し、胎内球場を加えた

7 事業の方向性（案）

今後の方向性	⑤
課題及び今後の改善方法の対応	・野球場は、これまで取り組んできた野球合宿利用のみならず、これまで比較的利用が少ない市民に利用促進を図りたい。 ・胎内アウレックス館は休止となったが、引き続き本市で野球合宿を行う学校がある。 ・ナイター照明及び電動スコアボードの維持に対する方向性を検討する必要がある（今後、多大な経費に係る可能性がある）

8 二次評価

今後の方向性	③	
所見		
成果の方向性	今後の方向性	④ ② ①
	拡充	⑤ ③
	維持	⑥
	縮小	⑦
	休廃止	削減 縮小 維持 拡大
コスト投入の方向性		

事務事業評価シート（評価対象年度：令和元年度事業）

事業コード	160216		担当課	生涯学習課	担当係	スポーツ振興係					
事務事業名	B & G 海洋センター管理事業			事業年度	令和元年度		会計区分	一般会計			
基本政策	1	子育て・教育・学び		事業コード	大	16	生涯スポーツ	款	10	教育費	
施策	6	生涯スポーツ			中	02	施設の適切な維持管理と利用促進		項	07	保健体育費
					小	16	B & G 海洋センター管理事業		目	02	体育施設費
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令						
	法令による義務付け		努力義務+任意		関連条例	胎内市社会体育施設条例		関連計画	胎内市スポーツ推進計画/胎内市公共施設等総合管理計画		

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	B & G 体育館、プール、艇庫（指定管理外）の効率的な管理運営、効果的な整備を行い、生涯スポーツの振興を図る。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>第2期指定管理期間（H31～R5）</li> <li>B &amp; G 海洋センター艇庫の管理運営</li> <li>自然体験活動の受け入れ（市内学校、養護学校）</li> </ul>
実施方法	指定管理+市が直接実施

2 事業費の状況（※平成29年度～令和元年度は決算額、令和2年度は当初予算額）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総事業費（千円）	741	2,410	695	6,160	
国・県支出金	0	0	0	0	
地方債	0	0	0	0	
その他	408	387	65	34	
一般財源	333	2,023	630	6,126	
人件費（千円）	700	705	722		
正(h) ※事業費	380	380	380		
臨時(h) ※事業費	0	0	0		
総事業費+人件費	1,441	3,115	1,417		
財源「その他」内訳	自然体験推進事業支援金 32千円 艇庫土地賃借料 33千円				
事業費の主な支出内容	普通旅費 113千円 修繕費 180千円 その他保険料 87千円				

3 指標値の状況

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
産出指標	名称	施設利用可能日数	施設利用可能日数	施設利用可能日数	施設利用可能日数	施設利用可能日数
	目標	357日	357日	357日	357日	357日
	実績	357日	357日	335日		
成果指標	名称	年間利用者人数	年間利用者人数	年間利用者数	年間利用者数	年間利用者数
	目標	26,100人	26,100人	26,100人	25,000人	25,000人
	実績	25,150人	17,371人	22,771人		
	目標比	96.4%	66.6%	87.2%		

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	○	△	△		
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
達成度の判定理由	B & G 海洋センターの関連施設（体育館・プール・艇庫）は、B & G 財団から「特A」の評価を得ている。今年度で10年連続受賞となり、表彰を受けた。				

5 事業の点検項目

妥当性	事業が市民の需要（ニーズ）に合っているか ○：需要がある △：一部需要がある ▲：需要が低下している ×：あまり需要が無い	△			
	施策の目標に対してこの事業が貢献しているか ○：貢献している △：一部貢献している ×：あまり貢献していない	△			
	類似した事業が実施されていないか ○：類似事業がない ×：類似事業がある	○			
実施	住民等の参画、協働は可能か ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済	△			
	民間への外部化（業務委託・指定管理者制度等）は可能か ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済	実施			
	協働または民間への外部化が不可能な理由				
効率性	事業実施のプロセスや手続きに改善が必要か ○：改善の必要なし △：一部改善が必要 ×：改善が必要	△			
	事業費や人件費に削減の余地はないか ○：削減の余地なし △：一部削減の余地あり ×：削減の余地あり	△			
	受益者負担は事業コストに対して適正か ○：適正である △：検討・見直しが必要 -：該当しない	△			
単位コスト	算出方法 一般財源（人件費を除く）/利用人数 ・指定管理料は総合体育館で計上				
実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	13円	116円	28円		

6 改革改善の実施状況（平成29年度～）

[H28]	指定管理者制度導入
[H30]	第2期指定管理期間（次年度以降）の管理方法検討
[R1]	第2期指定管理期間（H31～R5）

7 事業の方向性（案）

今後の方向性	③
課題及び今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成31年度より第2期指定管理期間（5年間）に入り、これまでの指定管理者及び指定管理施設等を見直し、今まで以上に市民ニーズに合った管理運営と経費削減を図る。</li> <li>令和2年度予算にて、安全なプール運営のため、プール上屋鉄骨解体工事を実施済み。</li> </ul>

8 二次評価

今後の方向性	③																																
所見	艇庫の管理について、業務委託を検討する。																																
成果の方向性	<table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td>④</td> <td>②</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>⑤</td> <td>③</td> <td>④</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>⑥</td> <td>⑦</td> <td>⑧</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td>⑦</td> <td>⑧</td> <td>⑨</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>⑧</td> <td>⑨</td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>⑨</td> <td>⑩</td> <td>⑪</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>⑩</td> <td>⑪</td> <td>⑫</td> </tr> <tr> <td>拡大</td> <td>⑪</td> <td>⑫</td> <td>⑬</td> </tr> </table>	拡充	④	②	①	維持	⑤	③	④	縮小	⑥	⑦	⑧	休廃止	⑦	⑧	⑨	削減	⑧	⑨	⑩	縮小	⑨	⑩	⑪	維持	⑩	⑪	⑫	拡大	⑪	⑫	⑬
拡充	④	②	①																														
維持	⑤	③	④																														
縮小	⑥	⑦	⑧																														
休廃止	⑦	⑧	⑨																														
削減	⑧	⑨	⑩																														
縮小	⑨	⑩	⑪																														
維持	⑩	⑪	⑫																														
拡大	⑪	⑫	⑬																														
コスト投入の方向性																																	

事務事業評価シート（評価対象年度：令和元年度事業）

事業コード	160217		担当課	生涯学習課	担当係	スポーツ振興係						
事務事業名	胎内ライフル射撃場管理事業			事業年度	令和元年度		会計区分	一般会計				
基本政策	1	子育て・教育・学び		事業コード	大	16	生涯スポーツ	予算科目	款	10	教育費	
施策	6	生涯スポーツ			中	02	施設の適切な維持管理と利用促進		項	07	保健体育費	
					小	17	胎内ライフル射撃場管理事業		目	02	体育施設費	
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令							
	法令による義務付け		任意		関連条例	胎内市新潟県立胎内ライフル射撃場管理及び運営に関する条例		関連計画	胎内市スポーツ推進計画／胎内市公共施設等総合管理計画			

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	ライフル射撃場の効率的な管理運営、効果的な整備を行い、生涯スポーツの振興を図る。 新潟国体を契機にライフル射撃場として生まれ変わり、県から管理運営を委託されている。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>ライフル射撃場の維持・管理</li> <li>利用者へ貸し出し等用務</li> <li>ビームライフル体験の受入</li> </ul>
実施方法	市が直接実施

2 事業費の状況（※平成29年度～令和元年度は決算額、令和2年度は当初予算額）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総事業費（千円）	6,311	6,612	5,737	5,344	
国・県支出金	0	0	0	0	
地方債	0	0	0	0	
その他	872	1,181	714	1,106	
一般財源	5,439	5,431	5,023	4,238	
人件費（千円）	469	473	484		
正(h) ※事業費	255	255	255		
臨時(h) ※事業費	0	0	0		
総事業費+人件費	6,780	7,085	6,221		
財源「その他」内訳	使用料 714千円				
事業費の主な支出内容	管理補助員賃金 1,608千円 光熱水費 1,284千円 施設管理委託料 888千円				

3 指標値の状況

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
産出指標	名称	ライフル射撃場利用可能日数	ライフル射撃場利用可能日数	ライフル射撃場利用可能日数	ライフル射撃場利用可能日数	ライフル射撃場利用可能日数
	目標	250日	250日	250日	200日	200日
	実績	248日	235日	226日		
成果指標	名称	ライフル射撃場年間利用者人数	ライフル射撃場年間利用者人数	ライフル射撃場年間利用者人数	ライフル射撃場年間利用者人数	ライフル射撃場年間利用者人数
	目標	2,000人	2,000人	2,000人	1,600人	1,600人
	実績	1,481人	1,843人	1,111人		
	目標比	74.1%	92.2%	55.5%		

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
達成度	△	○	△		
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
達成度の判定理由	県からの無償委託（利用料金は市が受領）により管理運営を行っているが、運営財源確保等について県と継続協議する。				

5 事業の点検項目

事業が市民の需要（ニーズ）に合っているか	○：需要がある △：一部需要がある ▲：需要が低下している ×：あまり需要が無い	△											
	施策の目標に対してこの事業が貢献しているか	△											
	○：貢献している △：一部貢献している ×：あまり貢献していない												
類似した事業が実施されていないか	○：類似事業がない ×：類似事業がある	○											
	住民等の参画、協働は可能か	△											
	○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済												
民間への外部化（業務委託・指定管理者制度等）は可能か	○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済	△											
	協働または民間への外部化が不可能な理由												
	事業実施のプロセスや手続きに改善が必要か	△											
事業費や人件費に削減の余地はないか	○：改善の必要なし △：一部改善が必要 ×：改善が必要	△											
	○：削減の余地なし △：一部削減の余地あり ×：削減の余地あり												
	受益者負担は事業コストに対して適正か	△											
効率性	○：適正である △：検討・見直しが必要 -：該当しない												
	算出方法	一般財源(人件費を除く) / 利用人数											
	実績	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>単位コスト</td> <td>3,673円</td> <td>2,947円</td> <td>4,521円</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位コスト	3,673円	2,947円	4,521円	
	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度								
単位コスト	3,673円	2,947円	4,521円										

6 改革改善の実施状況（平成29年度～）

[H29]	・月曜日及び火曜日を休館日に設定。
[H30]	・雇用時間の見直し ・第4回全日本小学生エアライフル射撃競技選手権優勝者輩出

7 事業の方向性（案）

今後の方向性	⑤
課題 改及 改今 善後 方の 法対 応	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内から国体選手が育っているが、広く市民に利用される種目でなく、収支面に課題が残る。</li> <li>県立施設であり、県とランニングコストなど費用負担などのあり方について協議を続ける。</li> <li>開館日や開館時間を縮小するなど運営体制を見直す。</li> <li>ライフル射撃場は、近隣に類似施設がなく、地域の魅力の一つになっていることからスポーツツーリズムとしての推進策を引き続き検討したい。</li> <li>2020年東京オリンピックまでJOC認定競技別強化センターに認定されている。</li> </ul>

8 二次評価

今後の方向性	⑤																																													
所見																																														
成果の方向性	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>拡充</th> <th>維持</th> <th>縮小</th> <th>休廃止</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>④</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>⑦</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>拡大</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> </tr> </tbody> </table>		拡充	維持	縮小	休廃止	④	◎	◎	◎	◎	⑤	◎	◎	◎	◎	⑥	◎	◎	◎	◎	⑦	◎	◎	◎	◎	削減	◎	◎	◎	◎	縮小	◎	◎	◎	◎	維持	◎	◎	◎	◎	拡大	◎	◎	◎	◎
	拡充	維持	縮小	休廃止																																										
④	◎	◎	◎	◎																																										
⑤	◎	◎	◎	◎																																										
⑥	◎	◎	◎	◎																																										
⑦	◎	◎	◎	◎																																										
削減	◎	◎	◎	◎																																										
縮小	◎	◎	◎	◎																																										
維持	◎	◎	◎	◎																																										
拡大	◎	◎	◎	◎																																										
コスト投入の方向性																																														

事務事業評価シート（評価対象年度：令和元年度事業）

事業コード	160310		担当課	生涯学習課	担当係	スポーツ振興係				
事務事業名	競うスポーツ事業		事業年度	令和元年度		会計区分	一般会計			
基本政策	1	子育て・教育・学び	事業コード	大	16	生涯スポーツ	予算科目	款	10	教育費
施策	6	生涯スポーツ		中	03	スポーツを通じた交流の促進と地域の活性化		項	07	保健体育費
				小	10	競うスポーツ事業		目	01	保健体育総務費
事務区分	法定受託事務		○	根拠法令	スポーツ基本法					
	法令による義務付け			関連条例			関連計画	胎内市スポーツ推進計画		

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	選手や指導者を育成し、競技力の向上を図り、地元でスポーツを続けられる環境を整備するため、スポーツ協会への補助金交付と大会出場激励費の交付を行っている。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ協会へスポーツ振興補助金を交付する。</li> <li>・スポーツ大会出場激励費の交付。</li> </ul>
実施方法	市が直接実施

2 事業費の状況（※平成29年度～令和元年度は決算額、令和2年度は当初予算額）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総事業費（千円）	4,889	5,381	3,928	3,487	
国・県支出金	0	0	0	0	
地方債	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	
一般財源	4,889	5,381	3,928	3,487	
人件費（千円）	552	631	570		
正(h) ※事業費	300	340	300		
臨時(h) ※事業費	0	0	0		
総事業費+人件費	5,441	6,012	4,498		
財源「その他」内訳					
事業費の主な支出内容	各種スポーツ大会出場選手激励費 1,675千円 胎内市スポーツ振興補助金（スポーツ協会）2,240千円				

3 指標値の状況

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
産出指標	名称	スポーツ協会会員数	スポーツ協会会員数	スポーツ振興補助金の交付	スポーツ振興補助金の交付	スポーツ振興補助金の交付
	目標	1,500人	1,500人	1件	1件	1件
	実績	1,287人	562人	2,240千円		
成果指標	名称	全国大会出場実出場数（社会人）	全国大会出場実出場数（社会人）	全国大会出場者数（実人数）	全国大会出場者数（実人数）	全国大会出場者数（実人数）
	目標	10競技	10競技	110人	110人	110人
	実績	12競技	6競技	95人		
	目標比	120.0%	60.0%	86.4%		

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
達成度	◎	△	○		
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
達成度の判定理由	競技スポーツに真剣に取り組む選手の活躍が、市民に勇気や活力を与えているが、スポーツを楽しもうとする裾野の拡大に繋がるような啓発活動を行うなど、工夫が求められている。				

5 事業の点検項目

妥当性	事業が市民の需要（ニーズ）に合っているか	△
	○：需要がある △：一部需要がある ▲：需要が低下している ×：あまり需要が無い	
	施策の目標に対してこの事業が貢献しているか	△
	○：貢献している △：一部貢献している ×：あまり貢献していない	
効率性	類似した事業が実施されていないか	×
	○：類似事業がない ×：類似事業がある	
	住民等の参画、協働は可能か	×
	○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済	
単位コスト	民間への外部化（業務委託・指定管理者制度等）は可能か	△
	○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済	
	協働または民間への外部化が不可能な理由	
	事業実施のプロセスや手続きに改善が必要か	△
単位コスト	○：改善の必要なし △：一部改善が必要 ×：改善が必要	
	事業費や人件費に削減の余地はないか	△
	○：削減の余地なし △：一部削減の余地あり ×：削減の余地あり	
	受益者負担は事業コストに対して適正か	-
単位コスト	○：適正である △：検討・見直しが必要 -：該当しない	
	算出方法	スポーツ振興補助金/スポーツ協会会員数
実績	平成29年度	2,214
	平成30年度	4,982

6 改革改善の実施状況（平成29年度～）

[H30]	・北信越大会に対する激励費を、1万円から5千円に減額。
[H31]	・北信越大会（地区大会）、全国大会、国際大会、オリンピック・パラリンピックへの交付は1人につき各1回までに変更。

7 事業の方向性（案）

今後の方向性	⑤
課題及び改善後の対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開志国際高等学校や新潟食料農業大学との連携等は、将来有望なアスリートの効果的な発掘・育成を図る上で重要であり、経済・地域の活性化の起爆剤としても期待されている。</li> <li>・スポーツ協会事業への補助金の減額を検討する。</li> </ul>

8 二次評価

今後の方向性	⑤																																									
所見	今後の方向性	⑤																																								
	成果の方向性	<table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td>×</td> <td>④</td> <td>②</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td>⑤</td> <td>③</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td>⑥</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td>⑦</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>拡大</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>	拡充	×	④	②	①	維持	×	⑤	③	×	縮小	×	⑥	×	×	休廃止	⑦	×	×	×	削減	×	×	×	×	縮小	×	×	×	×	維持	×	×	×	×	拡大	×	×	×	×
	拡充	×	④	②	①																																					
	維持	×	⑤	③	×																																					
	縮小	×	⑥	×	×																																					
休廃止	⑦	×	×	×																																						
削減	×	×	×	×																																						
縮小	×	×	×	×																																						
維持	×	×	×	×																																						
拡大	×	×	×	×																																						
コスト投入の方向性																																										

事務事業評価シート（評価対象年度：令和元年度事業）

事業コード	169910		担当課	生涯学習課	担当係	スポーツ振興係				
事務事業名	一般経費スポーツ振興		事業年度	令和元年度		会計区分	一般会計			
基本政策	1	子育て・教育・学び	事業コード	大	16	生涯スポーツ	予算科目	款	10	教育費
施策	6	生涯スポーツ		中	99	その他		項	07	保健体育費
				小	10	一般経費スポーツ振興		目	01	保健体育総務費
事務区分	法定受託事務		○	根拠法令	スポーツ基本法					
	法令による義務付け			関連条例			関連計画	胎内市スポーツ推進計画		

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	市民がスポーツに親しむ機会を増やし、生涯スポーツの考え方の普及やスポーツ振興を図るために必要な一般経費を計上する。
主な実施内容	・スポーツ推進審議会委員及びスポーツ推進委員報酬 ・施設予約管理システムリース
実施方法	市が直接実施

2 事業費の状況（※平成29年度～令和元年度は決算額、令和2年度は当初予算額）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総事業費（千円）	-	-	5,421	3,358	
国・県支出金	-	-	0	0	
地方債	-	-	0	0	
その他	-	-	7	7	
一般財源	-	-	5,414	3,351	
人件費（千円）	-	-	0		
正(h) ※事業費	-	-	0		
臨時(h) ※事業費	-	-	0		
総事業費+人件費	-	-	5,421		
財源「その他」内訳	スポーツ振興基金 7千円				
事業費の主な支出内容	スポーツ推進審議会委員報酬 5,900円×7人×4回 スポーツ推進委員 5,900円×10人×4回 予約管理システムリース料 1,348千円				

3 指標値の状況

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
産出指標	名称			スポーツ・ボランティア募集イベント実施回数	スポーツ・ボランティア募集イベント実施回数	スポーツ・ボランティア募集イベント実施回数
	目標			3回	3回	3回
	実績			3回		
成果指標	名称			スポーツボランティア参加者数	スポーツボランティア参加者数	スポーツボランティア参加者数
	目標			80人	80人	80人
	実績			44人		
	目標比			55.0%		

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
達成度			○		
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
達成度の判定理由	たいない高原マラソンのボランティア活動は事業の定着化とともに浸透してきており、他の事業においてもボランティア活動を広げていきたい。				

5 事業の点検項目

妥当性	事業が市民の需要（ニーズ）に合っているか ○：需要がある △：一部需要がある ▲：需要が低下している ×：あまり需要が無い	○
	施策の目標に対してこの事業が貢献しているか ○：貢献している △：一部貢献している ×：あまり貢献していない	○
	類似した事業が実施されていないか ○：類似事業がない ×：類似事業がある	×
	住民等の参画、協働は可能か ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済	△
	民間への外部化（業務委託・指定管理者制度等）は可能か ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済	△
	協働または民間への外部化が不可能な理由	
効率性	事業実施のプロセスや手続きに改善が必要か ○：改善の必要なし △：一部改善が必要 ×：改善が必要	△
	事業費や人件費に削減の余地はないか ○：削減の余地なし △：一部削減の余地あり ×：削減の余地あり	○
	受益者負担は事業コストに対して適正か ○：適正である △：検討・見直しが必要 -：該当しない	○
	単位コスト 算出方法 一般財源/事業実施回数 実績 平成29年度 平成30年度 令和元年度 令和2年度 令和3年度 1,805千円	

6 改革改善の実施状況（平成29年度～）

[H28~]	・楡形ウィンドトレイルの実施
[R1]	・たいない高原マラソンの開催 ・ツールド胎内を初開催（実行委員会主催）

7 事業の方向性（案）

今後の方向性	③
課題改革及び今後の対応	定着化しつつある事業においては、事業内容を精査、改善しながら回数を重ねていく。 スポーツの持つ力を発揮するべく積極的な事業実施を展開していく。

8 二次評価

今後の方向性	②																																
所見	市民ニーズに合わせた事業を、市民協働で実施するようにしていく。																																
成果の方向性	<table border="1"> <tr> <th colspan="4">今後の方向性</th> </tr> <tr> <td>拡充</td> <td>④</td> <td>②</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>⑤</td> <td>③</td> <td>④</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>⑥</td> <td>④</td> <td>⑤</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td>⑦</td> <td>⑤</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td colspan="4">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>	今後の方向性				拡充	④	②	①	維持	⑤	③	④	縮小	⑥	④	⑤	休廃止	⑦	⑤	⑥		削減	縮小	維持				拡大	コスト投入の方向性			
今後の方向性																																	
拡充	④	②	①																														
維持	⑤	③	④																														
縮小	⑥	④	⑤																														
休廃止	⑦	⑤	⑥																														
	削減	縮小	維持																														
			拡大																														
コスト投入の方向性																																	

事務事業評価シート（評価対象年度：令和元年度事業）

事業コード	169911		担当課	生涯学習課	担当係	スポーツ振興係					
事務事業名	旧村松浜小学校解体事業			事業年度	令和元年度		会計区分	一般会計			
基本政策	1	子育て・教育・学び		事業コード	大	16	生涯スポーツ	予算科目	款	02	総務費
施策	6	生涯スポーツ			中	99	その他		項	01	総務管理費
					小	11	旧村松浜小学校解体事業		目	07	財産管理費
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令						
	法令による義務付け		任意		関連条例				関連計画		

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	老朽化した旧村松浜小学校体育館の解体を行う。	
主な実施内容	平成30年度 平成31年度	設計業務委託 解体工事
実施方法	市が直接実施	

2 事業費の状況（※平成29年度～令和元年度は決算額、令和2年度は当初予算額）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総事業費（千円）	0	1,000	29,160	0	
国・県支出金		0	0	0	
地方債		1,000	26,200	0	
その他		0	0	0	
一般財源		0	2,960	0	
人件費（千円）	0	186	190		
正(h) ※事業費		100	100		
臨時(h) ※事業費		0			
総事業費+人件費	0	1,186	29,350		
財源「その他」内訳					
事業費の主な支出内容					

3 指標値の状況

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
産出指標	名称		設計業務委託件数	解体工事	-	-
	目標		1件	1件	-	-
	実績		1件	1件		
成果指標	名称		設計業務委託進捗率	解体工事進捗率	-	-
	目標		100%	100%	-	-
	実績		100%	100%		
	目標比		100.0%	100.0%		

4 達成度

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
達成度		◎	◎		
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
達成度の判定理由	令和元年度に解体工事を行った。				

5 事業の点検項目

妥当性	事業が市民の需要（ニーズ）に合っているか ○：需要がある △：一部需要がある ▲：需要が低下している ×：あまり需要が無い	○
	施策の目標に対してこの事業が貢献しているか ○：貢献している △：一部貢献している ×：あまり貢献していない	△
	類似した事業が実施されていないか ○：類似事業がない ×：類似事業がある	×
	住民等の参画、協働は可能か ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済	×
効率性	民間への外部化（業務委託・指定管理者制度等）は可能か ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済	×
	協働または民間への外部化が不可能な理由 解体工事	
	事業実施のプロセスや手続きに改善が必要か ○：改善の必要なし △：一部改善が必要 ×：改善が必要	○
	事業費や人件費に削減の余地はないか ○：削減の余地なし △：一部削減の余地あり ×：削減の余地あり	○
単位コスト	受益者負担は事業コストに対して適正か ○：適正である △：検討・見直しが必要 -：該当しない	-
	算出方法 実績	

6 改革改善の実施状況（平成29年度～）

(該当なし)	
--------	--

7 事業の方向性（案）

今後の方向性	⑦
課題及び今後の改善方法の対応	・ 辺地総合整備計画の対象区域であり、解体後の用地活用等についての協議が必要である。

8 二次評価

今後の方向性	⑦	今後の方向性			
所見	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
		削減	縮小	維持	拡大
コスト投入の方向性					